請願・陳情審査結果

○TPP交渉参加反対に関する緊急請願

［採択］

請願者
猿島郡境町大字長井戸23
茨城むつみ農業協同組合
代表理事組合長　鈴木　博

意見書

○TPP交渉参加の撤回を求める意見書

意見書案が議員提案により可決され、地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に提出しました。

一般質問

質問及び答弁の全文については、「境町議会ホームページ」に掲載（2月末ごろ）されます。

議席9番　内海　和子　議員

○教育について

Q.小・中学校ではどのような政治教育がなされ、考える内容になっているのか。

A.小学校では社会科の授業で、茨城県庁や国会議事堂を見学し、行政についての学習をしている。中学校では3年の公民で地方分権と住民参加等行政や政治の学習をし、ディベート方式などを取り入れている。

［教育長］

Q.町政への理解を深めるため行政教室の開催はできないか。

A.公民館講座は学術文化の教養のためなのでなじまない。

［教育長］

A.行政懇談会を含めた形での出前講座等は可能である。

［副町長］

○男女共同参画について

Q.女性リーダー養成のためにも、女性対象の教室の開催はできないか。

A.今ある男女共同参画推進委員会の中で積極的に取り組んでもらいたい。

［副町長］

Q.過日行われた「女性だけの男女共同参画を考える集い」では意識の改革の必要性が言われた。参画プランの中にどう取り入れるのか。

A.アンケート結果などを踏まえ基本計画を作成中なので、素案ができ次第、推進委員会へ図りたい。

［副町長］

Q.女性の視点を町政に取り込むためのネットワーク作りは大切と考えるが。

A.今ある推進委員会が一つのネットワークなので、その充実を図ることが重要と考える。

［副町長］

Q.女性の管理職登用については建設的な試みはなされているのか。

A.職員221名中、女性は79名で35・7％、うち管理職（補佐含む）は61名中、8名で13％である。今後、男女共同参画等に関する職員研修の中で検討していく。

［副町長］

議席5番　須藤　信吉　議員

○圏央道周辺開発計画について

Q.仮称境インターチェンジ開通見通しについてですが、H22年度補正予算で約34・9億円追加され、約84億円（H21年度予算は約82億円）と発表されたが、境町として今後どの様に進めて行くのか。又、境町地区内におかれても用地取得に難航している所が数カ所あると聞いているが。

A.国交省では、当初計画の平成24年度を2年遅れの平成26年度以降としたが、その後平成26年度開通を目指していくと訂正されたようで、町としても早期開通を目指したい。又、用地取得に難航しているところがあれば町としても、全面的に協力して行く。

［町長］

Q.周辺開発計画の進捗状況についてですが、町おこし推進室ではどのように進められているのか。又、近隣市町村では、開発地域を検討されているが当町では。

A.前回アンケート調査したところ回収率が48・2％と悪かったので、今回は重点地域18・7ha（地権者129名）に絞り再度アンケート調査を行い内容分析して進めて行きたい。

［副町長］

A.境町には、五霞町・坂東市のように開発区域が難しく、アンケート結果等により8～9haの開発地域も検討して行く。

［町長］

○プラステンクーポンについて

Q.前回（2006年度）のプラステンクーポン利用者調査結果に基づいてどのように改善され進められたのか。

A.商工会との話し合いにおいて80％以上の継続要望があり今回も実施することにした。

［参事農政商工課長］

議席14番　斉藤　政雄　議員

○まちおこしについて

Q.軽トラ市について

A.地域経済活性化のため、地域の基幹産業である農林水産業と商業、工業等の産業間での連携を強化し、相乗効果を発揮できるよう境町農商工等連携委員会を立ち上げ、消費者、農産物生産者、商工業者等が交流を深め、地産地消の推進と、地域の賑わいを創出し、町の活性化につなげる事を目的とし、今年度の菜の花フェスティバルと同時開催したいと計画している。

［副町長］

○教育関係について

Q.小中学校の運動会について

A.各小中学校の学校行事については大きな行事等は前年度に計画を立てている。昨年の猛暑により、児童生徒の健康管理上、小学校の運動会日程を変更したが、苦情や意見が相次いだため今後の運動会開催においては、関係団体と協議していきたい。

［教育長］

Q.7年過ぎた英語教育の推移について

A.当町は、平成16年度より小学校の全学年を対象に英会話の授業を行ってきた。文部科学省より小学校英語活動地域サポート事業の推進地区の指定を受け、全国に先駆けた研究を行い研究発表会も行ってきた。全小学校の教育課程の特例校の申請をし他地域とは異なった教育課程を実施しており、国際理解活動の一環として児童が外国語に触れ、外国の生活文化に慣れ親しむことができるよう小学校の発達段階にふさわしい体験的な学習を通して実践的な取り組みを今後も推進したい。

［教育長］

議席2番　飯田　進　議員

○予算説明書について

Q.近年、各地方自治体においては、予算事業説明書を採り入れ、住民に予算編成についてわかりやすい説明を行っているが、当町でも作成して個別配布していく考えがあるか。

A.境町では、予算に関係する書類については、地方自治法に定められた体系に沿って作成・公表しているが各地方自治体の事例などを参考にして、経費などを含めて、今後、検討していきたい。

［副町長］

Q.これからは、情報公開が住民と行政の協働のまちづくりにおいての基本と考える。事業別予算を含め、町の財政について、住民にわかりやすく、示していく必要があると考えるが、具体的な検討をして、作成する考えはあるか。